

この情報は、山武農業事務所のホームページでも公開しています。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-sanbu/sanbu/gyoumu/gijutsujohou.html>

稲作農家 各位

山武稲作情報 第4報(2018年6月27日発行)

山武農業事務所 改良普及課

電話 0475-54-0226

FAX 0475-52-7914

山武地域の生育状況

「ふさおとめ」「ふさこがね」は概ね平年並みに幼穂形成期を迎えました。4月下旬植えの「コシヒカリ」は幼穂形成期を迎えていますが、平年よりも幼穂の形成がやや遅れています。幼穂長を確認し、また、葉色を見ながら適期に追肥しましょう（基肥で一発肥料を使用している場合は追肥の必要はありません）。

参考 生育調査ほの調査結果 (調査日 6月25日)

品種	場所	年	移植日	葉令	莖数 (本/m ²)	葉色 SPAD	葉色 カラー スケール	幼穂長 (mm)	幼穂 形成期	調査日
ふさ おとめ	山武市 (白幡)	30	4/26	12.4	580.5	39.7	4.9	3.0	6/21	6/25
		29	4/26	11.5	625.1	35.8	4.4	1.2	6/20	6/21
		平年値	4/28	10.9	502.2	38.4	4.8	1.9	6/19	6/20
ふさ こがね	山武市 (成東)	30	4/26	10.4	602.5	42.1	5.2	0.9	6/16	6/15
		29	4/25	9.7	549.5	38.5	4.8	0.9	6/15	6/14
		平年値	4/30	10.3	544.8	39.8	4.9	0.7	6/17	6/17
コシ ヒカリ	東金市 (幸田)	30	5/3	11.1	452.1	41.1	5.1	-	-	6/25
		29	4/28	11.5	398.6	38.0	4.7	0.6	6/28	6/26
		平年値	4/24	10.7	540.0	37.8	4.7	1.2	6/27	6/25
コシ ヒカリ	山武市 (成東)	30	4/26	10.4	537.8	36.0	4.4	1.2	6/23	6/22
		29	4/25	9.7	519.9	30.1	3.7	1.1	6/23	6/23
		平年値	4/30	10.3	484.4	35.1	4.3	1.3	6/24	6/24
ふさの もち	山武市 (成東)	30	5/10	10.1	640.1	39.1	4.8	-	-	6/25
		29	5/10	9.9	571.7	31.5	3.9	-	-	6/26
		平年値	5/9	10.0	585.5	38.3	4.7	-	-	6/24

平年値は過去10年間（ふさのちは8年間）の平均値。H30年度の幼穂形成期（）は推定日。

【飼料用米】

品種	場所	年	移植日	莖数 (本/m ²)	葉色 SPAD	葉色 カラー スケール	幼穂長 (mm)	幼穂 形成期	調査日
アキヒカリ	山武市	30	4/26	573.2	46.2	5.8	2.0	6/12	6/15
夢あおば	山武市	30	5/9	371.6	43.8	5.5	-	-	6/26

郵便で配信している方へお願い

稲作情報の配信を郵便から、電子メールまたは FAX へ切り替えを進めています。電子メール・FAX をお使いの方は、下記までご連絡ください。

連絡先 山口 k.ymgch87@pref.chiba.lg.jp、 0475-54-0226（電話）

今後の管理

○水管理

4月下旬移植の「コシヒカリ」は幼穂形成期を迎えています。中干しを終了し、湛水してください。中干し後は稲が最も水を欲する時期です。水を切らさないように管理してください。特に平均気温が20℃以下の低温が続くような場合は可能なかぎり深水で管理してください。

○追肥

幼穂長1cm程度確認できたら、穂肥を施用しましょう。品種によって施用時期等異なりますので、下記コラムを参考にしてください。

生育診断に基づいた適正施肥をしましょう

生育診断は生育ステージ（茎数を増やす時期 or 穂を作る時期なのか判断）と生育量（葉色や草丈など稲体の状態）を診断し、結果を栽培管理に活かす技術です。診断結果は、施肥管理に活用し、生育制御をすることで高収量・高品質の水稲生産を行います。

●生育ステージを把握して、適期に穂肥を施用しましょう

生育ステージのうち、収量や品質に影響するのが、幼穂形成期です。幼穂形成期は、これまで葉や茎を増やしていた稲体が穂を作り始める重要な時期(生殖生長期への切り替え)です。幼穂（茎の中にある稲穂の元）の長さが1ミリメートル以上の株が、全体の8割に達した時が幼穂形成期です。

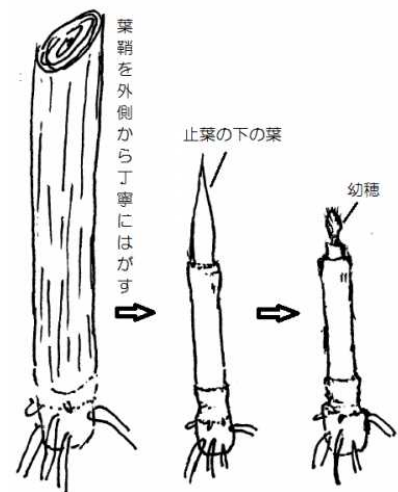


図1 幼穂の確認方法

表1 品種ごとの穂肥の施用時期と幼穂長

品種	穂肥の施用時期	幼穂長
ふさおとめ	出穂前18～25日前	0.1～1cm
ふさこがね	出穂前18日	1cm
コシヒカリ	出穂前10～18日	1～8cm

ほ場の中で平均的な生育をしている株を5株選び、それぞれの株の中で最も草丈の高い茎を抜き取ります。茎の下部の葉鞘を1枚ずつ丁寧にはぎ取って幼穂を探します(図1)。この幼穂の長さで、幼穂長を確認して、穂肥を施用します(表1)。

●生育診断にICTが活用されています。

近年、ほ場全体をドローンや人工衛星で撮影して、ほ場の状況を把握する「リモートセンシング」の活用が注目されています。特に、窒素の量と相関のある葉色を測定して、施肥量を調節する技術が進んでおり、山武地域では試験的に導入されています。データの取得や活用には費用が掛かるため、自身の経営にどのように活用できるか判断することが重要です。

次回の情報は7月13日(木)に発行する予定です。